

(別紙様式)

令和5年度学校評価の実施状況等調査

学校名	那覇西高等学校
記載者名	教頭 金城 篤

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	52	0	0	56

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	2	0				6

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	156	948	0				1104

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	① ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他()
学校関係者評価	① ホームページ ②学校便り ③保護者への説明会 ④その他()

5 令和4年度の学校評価を踏まえ、令和5年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①学業と部活動の両立について、令和4年度の評価を踏まえて取り組んだ結果、職員や生徒の評価が改善した。
②前年度に比較で「家庭や地域から信頼の信頼がある」と考える肯定的評価が3者で高まっている。
③学校行事の充実度や評価が前年度比で向上している。
④いじめに対する組織的な対応について、生徒・教職員とも肯定的な評価が85～96%と高い。
⑤本年度国公立大合格者数の増加及び難関私立大合格者が出ていることを反映し、全体的に進路指導に対する評価項目が教職員・生徒ともに改善している。

6 令和5年度の学校評価で明らかになった課題

①頭髪や服装面に対する肯定的評価が、前年度比で教職員・生徒ともに低下している。
②人権に配慮した指導を行っていると考えている教職員が大幅に増加しており、意識の向上がうかがえる一方、生徒・保護者の「(あまり)そう思わない」と考える割合は昨年比でほとんど変化がない。
③学業と部活動の両立に関する肯定的な評価について、生徒と教職員間で依然として大きな差があり、共通意識の醸成が必要である。
④学校と保護者等との情報交換の場の設定に係る肯定的な意見の回答数において、教職員に比べて保護者の肯定的評価が低くなっている。
⑤働き方改革の観点から、本年度HR担任による保護者の回答の有無の確認作業を割愛したところ、保護者の回答率が大幅に低下した。

7 令和5年度の学校評価を活かした令和6年度の改善点

①引き続き生徒一人ひとりにあった進路指導の実現に取り組み、生徒・保護者が満足できる進路実現に取り組み。
②文武両道の実現について、改善の余地があることから、引き続き取り組みを継続して充実した学校生活を送れるよう努めていきたい。
③頭髪・服装など生活指導面での肯定的な意見が減少しており、次年度も共通認識に基づいた生活指導の実施に取り組み。
④研修等を通して教職員の人権意識の向上に引き続き取り組み、管理者・教職員が協力して生徒・保護者から「より信頼される学校」の実現を図っていく。
⑤保護者回答率の向上を図る取り組みを再検討する。